



スペシャルオリンピックスとは

スペシャルオリンピックスは、知的障害のある人（「アスリート」と呼ぶ）の自立と社会参加を応援するために、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じて提供する国際的なスポーツ組織です。1968年にJ. F.ケネディ元米国大統領の妹、故ユニス・ケネディ・シュライバー氏により創設されました。

チャンピオンスポーツの大会であるパラリンピックと異なり、あらゆる競技レベルの「アスリート」が継続的に参加する活動です。今も世界のどこかでスペシャルオリンピックスの活動が行われています。

スペシャルオリンピックスの現状

世界約200ヶ国・地域で約400万人のアスリート、100万人を超えるボランティアが活動に参加しています。

日本では47都道府県で約6,900人のアスリート、約8,000人のボランティアが、20種類以上のオリンピック種目に準じた競技に参加しています。

東京では1,800人を超えるアスリートと2,000人を超えるボランティアが、30ヶ所以上の会場で17種類のスポーツプログラムと6種類の文化プログラムに参加しています。

※データは2022年末現在

第18回ウォーク&ランフェスティバル

4年ぶりの開催となる18回目を迎えるウォーク&ランフェスティバルは、スペシャルオリンピックスが推進している「ユニファイド・アクト」の一環として開催するイベントです。前回に引き続き、「宣言タイムレース」を実施します。

※ユニファイド・アクトとは…

“ユニファイド”は「いくつかのグループが集まって一つのグループなる」ことを意味する英語です。知的障害のある人たちにスポーツを提供することで社会的インクルージョンの促進を目指すスペシャルオリンピックスでは、知的障害に対する理解を深めてもらうために、障害の有無、年齢、性別などに関わらずスポーツが好きな人たちが集まり、思いっきり楽しむ日のことを「ユニファイド・アクト」と呼んでいます。また、イベントに参加することが障害を理解する第一歩、つまり行動（アクト）になります。

本イベントの目的

本イベントは次の2つを実現することを目的としています。

- ①知的障害のある人と企業・団体・一般のランナーやボランティアが、スポーツを通じて交流し、相互に理解を深める
- ②スペシャルオリンピックスの認知度を向上させる



- イベント名称 第18回ウォーク&ランフェスティバル
- 背景 障害の有無にかかわらず、全ての人々が、その人らしく、生き活きと命を輝かせて生きることの出来る「共生の社会」、全ての人々が普通の場所で普通に暮らす「包み込む社会“INCLUSION（インクルージョン）”」の創造を目指して、スペシャルオリンピックスは活動を続けています。
- 開催目的 本イベントは、スペシャルオリンピックス日本・東京の活動に参加しているアスリートと、スペシャルオリンピックス日本・東京を支援する企業・団体のランナーがチームを組んでレースに参加し、秋空の下で歩き・走りながら親睦を深めるものです。このイベントを通じて、より多くの方にスペシャルオリンピックスの活動を知っていただくとともに、企業や団体の参加者に知的障害のある人たちと自然に接する機会を提供することを目的とします。
- 開催日時 2023年11月26日（日） 12時30分～16時（予定）
- 実施内容 宣言タイムレース 開会式、交流会、表彰・閉会式
- 開催場所 国立大学法人東京海洋大学 品川キャンパス
(港区港南4-5-7 JR・京急品川駅から徒歩10分)

開会式、交流会、表彰・閉会式：白鷹館 講義室
レース会場：キャンパス内通路
- 主催 認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本・東京
- 主管 スペシャルオリンピックス日本・東京みなと
第18回ウォーク&ランフェスティバル実行委員会
- 後援（予定） 東京都、港区、国立大学法人東京海洋大学
- 募集人数 宣言タイムレース 25チーム
※ 1企業・団体あたり最大4チームまででお願いします
※ 募集チーム数に達し次第、募集を締め切らせていただきます

ボランティア 70名
※ 1企業・団体あたり10名まででお願いします